

| | |
|-------------|--------------------------------------|
| 記者発表資料 | |
| 令和5年2月17日 | |
| 担当課 (担当) | こども家庭課（山下） こども発達支援センター（平戸） |
| 電 話 | 30-8235（内線 7490） 30-8560（内線 6060） |

公立保育園等における保育業務支援システムの導入について

本市の公立保育園、幼稚園、児童発達支援センター（若草学園）では、この度、各園等にタブレット端末を活用した保育業務支援システムを導入します。

この保育業務支援システムの導入により、園児の登降園がシステム管理され、各園における園児在園情報等が園の全職員で共有できることに加え、保護者も自身の子どもの在園状況が確認できることから事故防止と保護者の安心につながります。

また、保護者と園の連絡をスマートフォン等のアプリで行うことができ、連絡体制等についての利便性の向上や、発達状況や登録情報をデータ連動することで、職員の業務効率化と負担軽減が期待でき、保育園等の働きやすい環境の実現を目指します。

記

1. 導入の園及びシステム

公立保育園 22園 （システム名：CoDMON）

公立幼稚園 3園 （システム名：CoDMON）

児童発達支援センター 1園 （システム名：おまかせ保育システム）

2. 導入機能及び効果

●登降園管理

園児の登降園記録は、QRコードを使った打刻機能で自動管理します。この記録は、園の全ての職員が確認できることから園全体での情報共有が図れます。一方、保護者はスマホアプリを使用し、自身の子どもの在園状況や登降園時刻などの確認が可能です。



●遅刻・欠席・お迎え・延長

登降園時間帯の遅刻・欠席・お迎え・延長などに伴う連絡が保護者アプリから申請できます。保護者は時間を気にせず瞬時に園に報告することができ、園はタブレット等でリアルタイムに情報を受け取ることができます。これにより、園は聞き取りが必要な内容等に電話対応の時間を充てることができ、保護者、保育園双方にとって利便性の高い機能です。

●お知らせ一斉配信

保育園等からののお知らせは、クラスや園児を指定して一斉に配信することができます。配信方法はメール配信の他に、スマホの通知機能やアプリ内で配信などあらゆる方法で情報を届けることができ、速やかな情報配信の実現とペーパーレス化によるコスト削減、さらには職員の事務負担軽減が期待できます。欠席された園児のご家庭にも情報配信が可能です。



●指導案・日誌作成

現在園で使用している帳票をアップロードし使用します。日誌や発達経過記録・月案等がデータ連携することで、一貫性のある指導案の作成が可能です。デジタルを活かした閲覧性の良さ、テンプレート機能の活用、音声入力などを実施することで、作成時間の削減と、指導案及び保育の質の向上が期待できます。

●連絡帳 ※

園児の様子を伝え合う連絡帳を電子化します。保護者はスマホアプリを使って、家庭での様子を選択形式で報告するため、最小限の手間で入力できます。園では、園での様子を写真も活用しながらフィードバックすることができます。

●給食管理 ※

園児台帳と連携した献立を作成します。保護者のスマホアプリを使って献立表配信などを行います。単一の給食管理ソフトでは実現できなかった業務フローで、業務負担を軽減しながら栄養士・調理師・保育士の連携を強化し、栄養・アレルギー管理はもちろん、給食の安全性・効率性・経済性の向上と、こどもの食環境改善・食育推進の両立を目指します。

3. 導入スケジュール

令和5年4月1日から導入開始

※連絡帳と給食管理システムは段階的に導入を予定

